

### 子どもたちの願い 大空へ

町子ども会連絡協議会主催のドッジボール大会で、子どもたちの復興への願いを付けた風船が放たれました（関連記事 12頁）。

#### ●主な内容

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 支え合いときずなの大切さを共感    | 2～5   |
| 検証委員会を設置           | 6～7   |
| 施設を再開します           | 9     |
| FLASH NEWS (まちの話題) | 12～13 |



- ① 「ふるさと」などを演奏した弦楽アンサンブル華夏の皆さん
- ② トークショーで家族とのきずなを語る堀ちえみさん（右）
- ③ 人権作文入賞者の皆さん
- ④ 人権標語入賞者の皆さん
- ⑤ 人権ポスター入賞者の皆さん



## 人を大切に思う心が 佐用町を支える

昨年の台風9号で発生した未曾有の大災害。その際、ご近所同士の助け合いや支え合いが、また町内外の多くのボランティアの皆さんが、被災された皆さんの一人ひとりの生活復旧を大きく後押ししました。

このたびの災害で「支え合い」や「きずな」「思いやり」など、人の温かさやその大切さを、あらためて実感した人は少なくないでしょう。

そんな「ふれあいと支え合いのきずなづくり」をテーマとした人権まちづくりフェスタさようが、1月30日、さよう文化情報センターで開催されました。

人を大切に思い、支え合う心。それが人権感覚を育てると同時に、佐用町の復興とまちづくりを支えます。

## 人権作文など 入賞者を表彰

同フェスタは、弦楽アンサンブル華夏による復興応援コンサートで幕開け。続いて、人権作文や標語、ポスターの入賞者の表彰式が行われました。

その後、上月小6年の横山潤くんが人権作文を朗読し、水害の経験でボランティアの大切さを、また町商工会青年部長として復興活動に汗を流す加古原瑞樹さんが、災害から得た経験を生かし、創造的復興をめざすことを参加者に訴えました。

最後は「家族のきずなづくり」4男1女の母として「と題し、タレントの堀ちえみさんのトークショーが行われました。堀さんは日常の子どもたちへの関わりを通じて、家族のきずなの大切さを話しました。

# 人権まちづくりフェスタさよう 支え合いときずなの 大切さを共感



③ 大願寺 笹谷浩代

④ 大願寺 笹谷浩代  
小山 山内由佳子

⑤



■ 今回のイベントは 400 人以上の参加がありました。その多くの来場者の前で朗読された人権作文と復興への思いをご紹介します。水害を通じて「人の温かさ」を学ぶ児童、そして「人のつながり」に感謝し、復興をめざす若者の熱い思いです。(順不同)

## 創造的復興をめざそう

町商工会青年部長

加古原

瑞樹 さん

昨年 8 月 9 日の水害から、もうすぐ半年がとうとうとしまします。多くのボランティアのかたの協力のお陰で、あのとときの被害が嘘のように落ち着きを取り戻しつつあります。

一方で修復が困難な建物の取り壊しが進み、子どものころから慣れ親しんだ町並みは無くなり、空き地だらけになりました。そしてその結果、佐用を離れる人も少なくありませんでした。私の実家も商店街の中で呉服店を営んでいますが、もちろん甚大な被害を受けました。また我々青年部の部員も多くが自宅や店舗に被害を受けたため、青年部活動は休止状態になってしまいました。

部員が中心になって自発的に町内各所で復旧作業にあたってくれました。それこそお盆にもかかわらず、また自分の仕事を放っておいで、毎日のように復旧作業をしてくれました。

そして『復興に向け立ち上がろう』という声が上がったのです。正直、私は「それどころじゃないよ」と思いましたが、部員の熱意に心を動かされました。

最初は炊き出しなどを行ったのですが、喜ばれている反面、どこか元気がないように思いました。よく考えると自分も、配給や炊き出しが続く中、頼ってばかりの受身の生活になってしまっていたのです。

そんなとき、青年部の先輩に「物を届けるのではなく、元気を届ける事が大事なんだ」と指摘されました。

そして、自分たちの力で立ち上がる事が、元気になる最善の方法だと考え、地域の人たちといっしょになってイベントを作り上げていく事にしました。

このときから『復旧』ではなく、『復興』をめざすようになりました。とは言っても、まだ自分の家の生活再建も出来ない状態で、



いっしょにイベントをする人を探すのは困難でした。しかしそこで、以前からまちづくりイベントで培った、人や団体との連携を生かすことができたのです。もちろん今までそんなつもりでイベントをしてきた訳ではありませんが、この絆の強さが、大きなエネルギーを生み出したのです。(次のページへ続く)

こうして、元気の輪を広げようという本格的な復興、イベントが始まったのです。

ただ時間がたつにつれ、何か違和感を感じるようになりまし。それは復旧が進み、痛みや苦しみが薄れ『災害になんか負けるもんか』という気持ちが薄れていくように感じたからです。これが本当に復興なのでしょう。確かに、みんな頑張つて元通りの生活に戻ろうとしているのですが、そこで満足してはいけないと思うのです。

先日、田んぼが壊滅的な被害を受けられた農家のかたを訪ねたときの事です。普段つらい農作業でも、近所の人たちといっしょになつて笑顔で頑張つておられるかたであったので、シヨックを受けているのではと心配だったので。案の定、大きな岩が流れ込み、川原のようになつた田んぼの中で、必死に復旧作業に取り組んでおられました。なんて声を掛けていか分からなかった私に、

その人は変わらない笑顔でこう言いました。「田んぼはメチャクチャになつたけど、たくさん岩が流れてきたから、庭に石垣を積むつもりなんや」。あつけらさんとそう言ったのです。

一生懸命農業をされていたので、辛くないはずがあまりません。それなのに、こんなにも前向きに生きておられるのです。私は感動して涙があふれそうになりました。それと同時に、自身も復旧しつつある現状に満足している事を反省しました。

皆さん、本当にこのままでいいのでしょうか。5年前、今回同様に水害にあいました。私たちはその経験を生かす事ができませんでした。もっと言えば5年前のあの水害で何を学び、何を準備してきたのでしょうか。もう二度とこんな思いをしてはいけません。つらい事を忘れる事も必要かも知れませんが、災害を経験したからこそ得られたものもあるはず。確

かに失つた物は、あまりにも大きく、二度と帰つてはきません。

しかし、それ以上に得たものもあつたのではないのでしょうか。みなさん、もう一度、自分たちが何を失い何を得たのか、一生懸命考えてみませんか。そこには、これから復興していくうえで必要な物が見えてくるはず。忘れるのではなく、次へつなげる。災害を無くす事は出来ませんが、被害を減らす努力はできるはず。そうして防災意識を高め、人と人の絆を強くする事が、どんな災害にも負けない強い地域づくりにつながるのです。

そしてこれこそが創造的復興の第一歩になるのだと思ひます。光輝く佐用の未来を築き上げるため、私たちは頑張らなくてはなりません。復興には、まだまだ時間がかかると思ひますが、あせらず力を合わせ、いっしょに頑張つていきましよう。

## 水害の経験を通して

上月小学校6年 横山 潤 くん

8月9日の朝から、すごい雨が降っていました。その夜の9時ぐらからは、

家が停電になりました。ぼくは家に水が入ってくるんじゃないかと、とつても心配していました。寝るときには2時になっていました。

そして、朝がきました。家の近くの鳥居のところに行くくと、川のところが土で埋まっていました。それを見

てぼくは、いとこの家は大丈夫かなと思ひました。ぼくは家族みんな、いとこの家に行きました。着くと一瞬体がとまりました。それはいとこの家の中が泥まみれになっていたので。いとこの駐車場には、すでに、冷蔵庫や炊飯器などの電気製品が全部使えなくなつたようで、並べて置いてありました。いとこの話を聞くと、車も、3台全部水につかつて廃車になつてしまつたそうです。家の中を見ると、本当に一面泥だらけでした。どこから片付けたらいいか、わからないくらいでした。それでもぼくたちは片づけを始めました。

いとこの家の片づけは思った以上に大変でした。ぼくは、この様子を目の当たりにして、初めて水の怖さを実感しました。

ニュースを見てみると、毎日のように佐用の水害のことをやっています。それを見ると、何かよそのことのように思ひ、



人権まちづくりフェスタさようが開催される前に、会場の外では佐用町で2回目となる「ぼうさい朝市」が開催され、多くの人でにぎわいました。

この日も前回同様、全国のおいしい特産品が集まり、終了時間を前にして、売り切れてしまうほどの盛況ぶりでした（写真上）。

また同会場では「台風9号災害写真展」も開かれ、来場者の皆さんは被災直後と復旧後の多くの写真を見ながら、防災の意識を高めました（写真下）。



## おいしい防災ネット ぼうさい朝市も開催

「なのは夢じゃないのかな」と思いました。でも、これは夢じゃありません。悲しいけど、本当のことです。どこの家の人もみんな、泥のかき集めをしています。いたとこの家にも、何人かのボランティアの人が来てくれました。その人たちといっしょに手伝いをしました。ボランティアの人は、家の中の泥を出したり、使える冷蔵庫をふいたりなどされています。ぼくは、ボランティアの人とはしゃべってはいなかったけれど、見ていると、とつてもしんどそうでした。ぼくはボランティアは、困った人を助けることだと何となくはわ

かっていました。でも、実際はしたことはありません。今回、実際にボランティアをしている人と出会って、ぼくはすごいなと思いました。まず、こんな作業をだまって手助けしてくれることに感動しました。優しい人たちだなと思いました。そして、遠くから費用もたくさんかかるのに、わざわざ来てくれるのを知り、自分にはできないだろうと思いました。ボランティアの人たちは、文句を言わず、家の人がしてほしいことを次々としてくれました。暗い顔をせず、がんばってくれていました。

もし、ボランティアの人たちがいなくなったら、すぐには片付いていなかっただろうし、もつとしんどかっただろうなと思います。がんばる姿に、ずいぶん励まされたと思います。もう一つ、ぼくが励まされたことがあります。それは、学校でボランティアの人が、上月の子どもたちといっしょに遊んでくれたことです。

災害の後、一度も遊びに行くこともなかったぼくたちは、久しぶりにみんなと思いっきり遊んで、とつても心が楽になりました。久しぶりに友だちと会って元気でよかったです。

ボランティアの人も明るく笑顔で接してくれて、すぐに時間が過ぎてしまいました。今回の水害で、ぼくは人と関わるこの大切さを学びました。今度は、ぼくがいろいろな物を送ったり手伝ったりする、ボランティアができたらいなと思います。困っている人に、元気をあげることができるようになりたいです。





第1回検証委員会で、あいさつをする室崎委員長

## 佐用町台風第9号災害

# 検証委員会を設置

今後の防災対策に向け、昨年の台風9号の豪雨による災害対策に関し検証を行うための佐用町台風第9号災害検証委員会が、1月26日、さよう文化情報センターで公開のもと開催されました。委員の皆さんは、検証項目など活発に議論を行いました。

### 防災対策の強化と 充実に

昨年の台風9号の豪雨は、人的被害をはじめ、広範囲におよぶ浸水や、家屋、河川、道路、農地、農業用施設などの損壊、農作物、山林に甚大な被害をもたらしました。

町では、災害対策本部を設置し、県や他市町などの応援を得ながら、全庁体制で応急対策に取り組みましたが、様々な課題も判明しました。

このため同委員会は、台風9号の災害への町の対応を検証し、その結果

を町地域防災計画（風水害等応急対策計画）に反映させるなど、今後の防災対策の充実強化を目的に設置されました。

また、必要に応じ、分野ごとのワーキング（現地調査、聞き取りなどの調査、分析など）部会を設置し、分野ごとの深い議論を行っていきます。

### 委員は5人 委員長に室崎益輝さん

委員の皆さんは、学識経験のある5人の皆さん（次ページ参照・1月26日委員会は、菅委員が欠席）です。

### 検証項目について 活発な議論

今回の委員会では委員長・副委員長の選出が行われ、委員長に関西学院大学災害復興制度研究所長で、町復興計画検討委員会委員長の室崎益輝さんが選任されました。また副委員長には、（財）兵庫国際交流教育理事長の齋藤富雄さんが選任されました。

会議では、冒頭に町から被害状況などについて説明を行った後、検証する項目について「町の防災体制、町と関係機関と

## 台風第9号災害検証委員会委員 (敬称略)

| 役職   | 名前    | 所属                         | ワーキング部会の担当分野               |
|------|-------|----------------------------|----------------------------|
| 委員長  | 室崎 益輝 | 関西学院大学災害復興制度研究所長           | 全分野                        |
| 副委員長 | 齋藤 富雄 | (財)兵庫県国際交流協会理事長            | 災害対策本部体制・関係機関との連携          |
|      | 宇田川真之 | 人と防災未来センター主任研究員            | 災害情報伝達、避難の実施               |
| 委員   | 菅 磨志保 | 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師 | 災害支援ボランティア                 |
|      | 前林 清和 | 神戸学院大学防災・社会貢献ユニット長         | 災害情報伝達、避難の実施、災害救援ボランティアの一部 |

### 5つのことを 念頭に検証する

#### 室崎益輝委員長

佐用町検証委員会委員長の就任にあたり、5つのことを念頭においてのぞみたいと考えています。

まず1点目は、事実即して客観的に検証すること。2点目は、亡くなられたかたを含め、多くの被害がでたという事実を踏まえること。3点目は安全安心の佐用町実現のため、建設的な検証を行うこと。4点目に県検証委員会と力を合わせ、地域ともコミュニケーションを図りながら、協働的に進めること。5点目に、弱点の反省からスタートし、問題点を明らかにしていくことです。

災害で亡くなられたかたの犠牲に報いるためにも、しっかりと検証したいと考えています。

の連携に関すること」、「災害情報の伝達、避難の実施に関すること」、「災害救援ボランティア活動の支援体制に関すること」などを挙げて、意見を求めました。委員の皆さんからは、現地調査の実施、河川水位、被災時の状況、情報伝達、被害区域、避難、防災体制やコミュニケーション、ボランティアなど、様々な分野から、多岐に渡る意見が出されました。

その後、委員のワーキング部会の担当を決めました。

**ワーキングを重ね  
検証を深める**

今後は、各分野のワーキングを重ねながら情報収集が行われ、全体の委員会で報告・検証が行われます。

委員会は月1回程度行われるとともに、提言を急ぐものは、中間報告が行われます。

#### お問い合わせ

災害復興対策室

☎ 86・8755 (上月)  
☎ 82・2460 (佐用)

最終的には、全体の検証が行われた後に、町への提言書としてまとめられます。

※会議資料などは、佐用町の公式ホームページ (<http://www.town.sayo.jp>) で公開しています。

# 人づくりはまちづくり 佐用町高年大学 学生募集

様々なことを学び、教養を高めること、そして学んだことを自分の人生に、そして地域に生かすこと。それが人づくりであり、まちづくりの第一歩です。さあ高年大学で、みんなで楽しく学びましょう。

|  | 佐用教室   | 上月教室                           | 南光教室                       | 三日月教室                   |
|--|--|--------------------------------|----------------------------|-------------------------|
| <b>開設場所</b>  | 主にさよう文化情報センター                                      | 主に上月文化会館                       | 主に南光文化センター                 | 主に三日月文化センター             |
| <b>一般講座</b><br>各分野から講師を招いての講演(毎月1回)                | 午前10時～正午<br>開催基準日：第3木曜日                            | 午前10時～正午<br>開催基準日：第3水曜日        | 午前10時30分～正午<br>開催基準日：第2木曜日 | 午前10時～正午<br>開催基準日：第3火曜日 |
| <b>専門講座</b><br>基本的に一般講座開催日の午後に行います(学習計画は各支部で立案します) | 手芸(編物・小物作りなど)、アートフラワー、栄養と料理、歴史、盆栽、生花、書道、俳句、工芸、コーラス | 園芸、陶芸、手芸(ちぎり絵)、書道、実用書道、音楽、パソコン | 手芸(ちぎり絵)、コーラス、書道、園芸、料理     | 書道、歌謡、健康ダンス、大正琴、パソコン    |
| <b>クラブ活動</b><br>各クラブにおいて開催日・活動内容を決定しています           | ゲートボール、社交ダンス、生うけ花、囲碁、たごえ、ニュースポーツ                   |                                |                            | ゲートボール、グラウンドゴルフ、音楽、陶芸   |
| <b>開設期間</b>  | 平成22年4月～平成23年3月                                    |                                |                            |                         |
| <b>対象者</b>   | 町内に在住しているおおむね60歳以上のかた                              |                                |                            |                         |



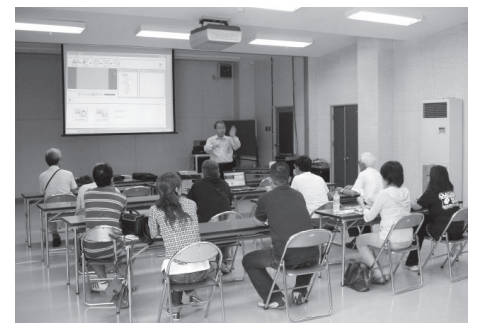
## 【募集要項】

- 学費 1教室につき、1人年間1,000円 (ただし、専門講座・クラブなどの材料費等実費が必要)
  - 入学申し込み 生涯学習課、各支所地域振興課にある申込書でお申し込みください。
  - 申込締切 3月19日(金)
  - その他 どの教室、複数の教室にも入学可。
  - お問い合わせ 生涯学習課
- 三日月支所地域振興課 ☎79・2982  
 上月支所地域振興課 ☎82・3336  
 南光支所地域振興課 ☎86・1210  
 佐用支所地域振興課 ☎78・0123

## 募集します

# まちかどカメラマン

あなたが撮影した映像が佐用チャンネルで



前回の講習会のようす

佐用チャンネルでは、さらに身近な地域情報チャンネルをめざし、まちかどカメラマンを募集します。

まちかどカメラマンは登録制です。皆さんがまちかどで撮影した映像で、佐用町を元気にしてみませんか。

**まちかどカメラマンになるために**  
4 程度のビデオ撮影・編集教室を経て、まちかどカメラマン(ボランティア)として登録していただきます。

**まちかどカメラマンの役割**  
地域行事などを撮影・編集したものを町へ提供いただき、佐用チャンネルで放送します。

**ビデオ撮影・編集教室**  
開催日時は後日連絡します。

■参加費 1,050円 (テキスト代)

■持参物 デジタルビデオカメラ

■申込期限 4月30日(金)

■申し込み・お問い合わせ  
まちづくり課

☎82・0664



ご利用  
ください

## 災害で休業していた 施設を再開します

### 南光自然観察村 3月21日に復興イベント

水道管の修復や、ツ

リーハウスの改修など村  
内のリニューアル工事も  
終え、3月1日(月)か  
ら一部を除き、営業を再  
開しています。

これまで入り口として  
利用していた長林橋は流  
されてしまったため、現  
在復旧計画中です。

復旧までは、下流にあ  
る城戸橋から出入りをお  
願います。

#### ■復興イベントを開催

3月21日(日)には、  
午前10時から体験イベン  
トを、また午後2時から  
ミニコンサートを実施し  
ます。

#### ■お問い合わせ

南光自然観察村  
☎77・0160

### 上月グラウンド 3月13日から利用可

上月グラウンドの利用  
を3月13日(土)から再  
開します。利用の際はあ  
らかじめ使用申請をして  
ください。

#### ■お問い合わせ

上月体育館  
☎86・0441

### 町昆虫館 4月3日から再開

敷地が大量の土砂で埋  
まり、館内にも泥水が流  
入し、休館となっていた



昆虫館の復旧作業のようす

町昆虫館ですが、多くの  
皆さまのご支援によって、  
4月3日(土)から開館  
します。

佐用町の標本コーナ  
ーを新設するなど、見事  
によりがえった昆虫館に  
ぜひ遊びに来てください。

#### ■再開記念イベント

#### 「むし開き」を開催

4月4日(日)午前11  
時から再開記念イベント  
を開催します。

「昆虫館の歌」を初披  
露し、「昆虫くす玉」を  
みんなで作ります。

#### ■お問い合わせ

教育委員会 ☎82・2424  
NPO法人こどもと虫の会事務局  
☎800-385316483  
昆虫館ホームページ  
(<http://www.konchukan.net/sayon/>)

## 「きれいになってうれしい」と笑顔の園児たち

### 久崎保育園が再開

昨年の台風9号に伴う集  
中豪雨で、大きな被害を受  
けた久崎保育園が、2月2  
日から再開しました。園児  
たちは、きれいに改修され  
た保育園で元気に遊び「き  
れいになってうれしい」と  
笑顔を見せていました。

同園は、被災後約1週間  
休園した後、近所の久崎小  
学校の空き教室を活用して  
保育を実施。同小学校の夏  
休みが終わり、場所を約4  
km離れた上月保育園に変え、  
合同で保育を実施していま  
した。

被災した園舎は、昨年  
11月から復旧工事にあたり、  
壊れた多くの備品も新  
調しました。その他、浸水  
で壊れた遊具はロータリー  
クラブから寄贈いただいた  
り、全国からの救援物資を  
一部活用したりして、再開  
にこぎつけました。

同園の平田洋子園長は  
「なじみの園舎に戻れて、  
子どもたちも喜んでいま  
す。支援してくださった皆  
さんに感謝します」と話して  
いました。



園庭で元気に遊ぶ園児たち

春休み特別上映  
**光都映画祭**

とき

**3月20日(土)～28日(日)**

※22日(日)は休館日

ところ

**光都プラザ オプトピア**  
播磨科学公園都市内

ウォレスとグルミットシリーズやジャングル大帝などの虫プロ作品、ハローキティのサンリオ世界名作劇場など、子どもたちが大好きな映画を上映します。入場は無料です。

上映スケジュールは、下記にお問い合わせください。

■お問い合わせ

播磨科学公園都市まちづくり事務所

☎ (0791) 58-1115

オプトピア

☎ (0791) 58-1155

第4回

**佐用町桜まつり**



とき

**4月4日(日)**

午前10時～午後2時

ところ

**笹ヶ丘公園／笹ヶ丘ドーム**

写生大会や紙すきなどの体験イベントやバザーのほか、楽しい催しを計画中です。ぜひご来場ください。

また午前8時30分からは、飛龍の滝(往復8キロ)までのウォーキングも開催します。

■お問い合わせ

商工観光課 ☎82-0670

がんばった人たちに  
にじゅうまる

**みんなのスポーツ**

敬称略

第8回町ミニ

バスケットボール大会

■日時 2月13日(土)

■場所 佐用勤労者体育センター

【男子(混合)の部】

優勝 サーターアン

ダギー(佐用小)

準優勝 うまい棒(佐用小)

第3位 久崎男子(久崎小)

【女子の部】

優勝 SLAM☆D

UNK(上月小)

準優勝 ニコちゃん☆

(久崎小)

第3位 ラストサムラ

イ(江川小)

第64回男子／第25回女子

県都市区対抗駅伝競走大会

2月7日、加古川市で

兵庫県都市区対抗駅伝大



頑張った選手のみなさん

会が開催され、佐用町から男女各1チームが参加しました。選手のみなさんは、ふるさと佐用の期待を胸に、「町民の皆さんに元気を与えることができる走りをしたい」と挑んだ大会でした。結果は男子4部で、見事3位入賞を果たしました。女子は入賞こそ逃したものの、第2区で齋明寺千佳選手が区間賞をとる活躍を見せました。

## 副町長に 高見俊男氏が再任

2月15日に開かれた町議会臨時会で、副町長に高見俊男氏を選任することに同意しました。

任期は2月20日から4年間です。



**高見俊男 (真盛)**  
(たかみとしお)

旧佐用町職員・町社会福祉協議会事務局長を経て、旧佐用町助役に就任。合併後、副町長に就任し、現在に至る。

## 復興計画検討委員会 基本方針を決定

「絆からはじまるふるさとの復興  
〜きらめくために、がんばろう佐用〜」

第3回目となる町災害復興計画検討委員会が、2月7日、さよう文化情報センターで開催され、災害復興計画の基本方針とイメージについて協議が行われました。

基本方針は、同計画の道しるべとなるもの。町内13地域で開催した「意見交換会」や、住民アンケートの結果から事務局が案を作成し、それを基

に「絆からはじまるふるさと」の復興〜きらめくために、がんばろう佐用〜に決定しました。

その他、計画内容の協議も行われ、各委員から復興への思いなど多くの意見が出されました。

### お問い合わせ

災害復興対策室

☎ 86・8755 (上月)

☎ 82・2460 (佐用)



## 鳥取自動車道 佐用JCT～大原IC

3月28日(日) 開通



鳥取自動車道(中国横断自動車道姫路鳥取線)佐用ジャンクション(JCT)から大原インターチェンジ(IC)までの区間(10.9km)が、3月28日(日)午後5時に開通します。また、鳥取県内の河原ICから鳥取ICまでの区間(9.7km)も同日午後2時に開通します。

ご利用の場合、佐用平福ICを過ぎると無料出口はありませぬので、ご注意ください。

■自動車専用道路ですので歩行者、自転車、125cc以下のバイクなどは通行できません。

■佐用JCT～佐用本線料金所間(1km)は有料です。また、佐用本線料金所では出入りできませんので、大原ICからの

■お問い合わせ  
国土交通省阪神国道事務所  
調査・品質確保課  
☎ 0797・32・2151



表彰状とたてを手にうれしそうな児童たち

## 長年の取り組みが評価

### 交通安全優良学校として表彰

佐用小学校がこのほど、「交通安全優良学校」として全日本交通安全協会から表彰されました。

同校では昭和36年から自転車教室などの実施や、児童による交通委員を集落ごとに配備するなど、登下校の安全確保に努めました。2月1日の全校朝会で、佐用警察署の中谷地域交通課長から表彰状が伝達されました。

6年生の田中勇暉くんは、「今後も交通安全に気をつけます」と話していました。



南光剣友会メンバーのみなさん

## 受賞を励みに頑張ります

### 南光剣友会

南光剣友会がこのほど、全日本剣道連盟から少年剣道教育奨励賞を受賞しました。

同会は昭和57年に設立し、剣道を通じた心身の錬磨と青少年の健全育成をめざし、週2回の練習と年間15回の対外試合などに参加。これらの活動が認められ今回の受賞となったものです。

同会の指導者として活躍する木南好弘さん（宝蔵寺）は「今回の受賞は私たちの大きな励みであり、今後も会員とともに頑張ります」と受賞の喜びを話しました。



真剣な表情でプレーする子どもたち

## ドッジボールで熱戦

### 町子ども会連絡協議会

町子ども会連絡協議会主催のドッジボール大会が、2月7日、上月ホテルドームで開催されました。

同大会には各小学校区の子ども会から67チーム535人が参加。会場に設けられた4面のコートで、子どもたちは歓声を上げながら熱戦を繰り広げました。

また、お昼には上月地域づくり協議会の協力で豚汁が振る舞われ、その後には子どもたちの復興の願いを乗せた風船約230個が空に放たれました（表紙写真）。



商工会青年部の活動やその思い、そして復興への道を模索している状況を説明する四方田さん（写真左から2人目）と北村さん（写真左）

## 復興に向かって意見交換

### 防災に強い地域づくり推進協議会のメンバー

2月5日、笹ヶ丘荘で防災に強い地域づくり推進協議会で活動する商店主、四方田康次さん（栄町）と北村広樹さん（上町）が、韓国の国立江原大学バックミンホ教授などと意見交換を行いました。

バック教授は、韓国でも局地的豪雨による災害が多く発生しているため、佐用町と情報を共有するために来日しました。意見交換会で四方田さんと北村さんは、これまでを振り返り「被災した商店は今、ようやく精神的に立ち直ろうとしているところ。今後防災について、自分たちで可能な情報発信の手法を考えたい」や「打撃を受けた商店を活性化するために、仕掛けを考えたい」などと、力を込めて話していました。



訪問し激励するみなさん。「お元気ですか？」

## 「久しぶりに心から笑った」

### 仮設住宅で訪問活動と交流会

佐用地域ふれあいの会、佐用交通安全協会、佐用防犯協会と佐用警察署、佐用地域交通安全活動推進員などの皆さんが合同で、2月9日、上月仮設住宅で訪問活動などを行いました。皆さんは、仮設住宅を個々に訪問し、相談を聞きながら被災された皆さんを激励しました。その後、ボランティアによる手品の披露や手打ちうどんが振る舞われ、交流を楽しみました。

保井千歳さん（東徳久）の手品では「すごい」「不思議やわ」と歓声があがり、木村光昭さん（宗行）が打ったうどんを食べたかたは「こしがあっておいしい」と、とても喜んでいました。

交流に参加した榎本さき糸さんと、槇本ツヤさんは「久しぶりに心から笑い、元気が出ました。皆さんの温かい心に感謝します」と笑顔で話していました。

なお、同署は毎月9日を「被災者支援の日」とし、今後も町内各地で被災者支援活動を行う予定です。



交流会には地域の子もたくさん参加。手打ちうどんを食べながら、手品をたのしみました

平成21年分所得税確定申告、平成22年度町・県民税の申告相談は3月15日(月)までとなっています。申告がお済でないかたは、期限までに申告をしましょう。

申告の日程についてはすでにお知らせしていますが、各自治会ごとの申告相談日に不都合がある場合などは、同一会場またはその地域や町全体の申告相談日にお越しくください。

■災害関連の申告について、翌年に繰り越す損失金額がないかたは、3月16日(火)以降でも税務署で申告はできますが、翌年以降に繰り越す損失額がある場合は、申告期限の3月15日(月)までに申告をする必要がありますので、ご注意ください。

### 町全体の申告相談

3月11日(木)～12日(金)  
3月14日(日)～15日(月)

#### ■受付時間

午前9時～午前11時30分  
午後1時～午後3時30分

#### ■受付場所

さよう文化情報センター

### 床下浸水被害も控除の対象です

昨年の災害で、住宅や家財、自家用車などに損害を受けた場合、被災状況に応じて税を軽減できます。

床下浸水の被害を受けられたかたも、住宅に泥などの堆積があれば控除の申告ができる場合があります。通常の申告に必要なもののほか、住宅の取得年月や総床面積がわかるもの、損害保険金などの補てんされた金額がわかるもの、住民課や各支所で発行する被災証明書、写真など被災状況がわかるものをご持参ください。

### ■お問い合わせ 税務課 ☎82-0662

■**手続きの方法**  
原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊(トラクターなど)は、ナンバープレートと印かんを持参し、役場税務課または各支所、出張所で手

単車、軽自動車などの税金「軽自動車税」は、毎年4月1日現在の所有者に課税されます。  
車両を処分したり、他人に譲ったときには、4月1日までに廃車の手続きを行ってください。  
手続きをしないと、引き続き課税されてしまい、トラブルの原因にもなりかねません。必ず届け出をしてください。

■**お問い合わせ**  
税務課 ☎82・0662

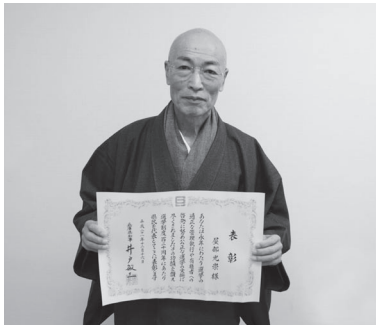
■**その他**  
原付、農耕用車などを新しく購入したり、譲り受けたりしたかたは、ナンバープレートの交付申請を行ってください。  
印かん、販売証明書、廃車証明書などを持参し、役場税務課、または各支所・出張所で手続きをしてください。

## 軽自動車や単車の廃車 手続きは3月中に



## 選挙管理委員会の屋部委員

### 知事表彰を受賞



町選挙管理委員会委員の屋部光崇さん（湯小・写真）が、このほど選挙制度 120 周年記念兵庫県知事表彰を受賞されました。

屋部委員は、昭和 55 年から今日まで同会委員として公正・公平な選挙運営に尽力され、その功績が高く評価されました。

## クリーンセンターから

### お知らせ

#### ■粗大ごみの収集

4 月下旬から順次収集を行います。収集日程は別途お知らせします。



#### ■祝祭日の業務

3 月 22 日（振替休日）

#### ■クリーンセンターへの直接搬入

月～金曜日の午前 9 時～午後 4 時 30 分をお願いします。第 3 土曜日は「燃えないごみ」のみ受付します。

#### ■お問い合わせ

佐用クリーンセンター  
☎ 8 2 - 0 2 9 3

## 入居者募集

### 町営五反田住宅

長尾地内の雇用促進住宅を町が買い上げ、4 月から定住促進住宅



「町営五反田住宅」として新たに管理します。

ただいま、入居者を募集しています。

入居申し込みや入居資格、または家賃など、くわしい内容は下記までお問い合わせください。

#### ■お問い合わせ

建設課 ☎ 8 2 - 2 0 1 9

私たちの代表を決める大切な選挙です

## 佐用町議会議員選挙

投票日 **4月25日**

投票時間 **午前7時～午後8時**

■投票所の一部変更 今回の選挙から、次の投票区の投票所が変更になります。

【第 14 投票所】西大畠集会所 → 「越田和公民館」に変更

該当集落：榎ヶ淵・越田和・判官・稗田・久木原・小日山

【第 28 投票所】下徳久公民館 → 「南光支所」に変更

該当集落：下徳久上・下徳久下（一部米田を含む）・林崎

■期日前投票の場所と期間 投票日当日に、仕事、買い物、レジャーなどの予定があるかたは、期日前投票をすることができます。今回の期日前投票から、お住まいの地域に関係なく、どの期日前投票所でも投票することができます。

| 期日前投票所                      | 投票可能期間と対象                       |
|-----------------------------|---------------------------------|
| さよう文化情報センター・上月支所・南光支所・三日月支所 | 4月21日（水）～24日（土）<br>午前8時30分～午後8時 |
| 三河出張所                       | 4月23日（金）～24日（土）<br>午前8時30分～午後5時 |

■立候補予定者説明会 3月26日（金）午後1時30分～／さよう文化情報センター

■お問い合わせ 佐用町選挙管理委員会事務局（総務課）☎ 8 2 - 2 5 4 9

後期高齢者医療制度  
長寿医療制度

# 入院時食事代の減額制度

世帯全員が町県民税非課税ですか？

はい



いいえ



該当しません

世帯全員のそれぞれの所得が0円？  
(ただし年金所得は、控除額を80万円で計算)  
単身世帯で年金収入のみの場合、年金額は  
年額80万円以下？

はい



いいえ



あなたは**区分1**に  
該当します

あなたは**区分2**に  
該当します

入院予定がある場合は、事前に申請してください

## 入院時食事代の減額区分

| 区 分 | 負担額                 |      |
|-----|---------------------|------|
| 一 般 | 260円                |      |
| 区分2 | 過去1年の入院<br>日数が90日以内 | 210円 |
|     | 過去1年の入院<br>日数が90日以上 | 160円 |
| 区分1 | 100円                |      |

世帯全員が町県民税非課税の場合、入院時に支払う一部負担金と食事代が減額されます。該当のかたは必ず入院する前に申請してください。申請すると「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

※申請月の初日から適用されます。該当のかたは、保険証、認印を持参のうえ、福祉課、または各支所・出張所で手続きをお願いします。  
※過去1年間以内に合計90日以上入院している場合、それを証明できるもの（領収書など）を持参ください（長期入院該当となり、別表の区分2に該当のかたは、さらに食事代が減額されます）。

※証の発行をせずに、既に食事代などを支払ってしまった場合は、領収書、認印、還付先口座番号がわかるものを持参のうえ、福祉課、または各支所・出張所で償還払いの申請を行ってください（時効は2年）。

■お問い合わせ 福祉課 ☎82-0661

## 2月受診分までが対象 通院の交通費を助成

町では、次に該当する在宅で生活するかたを対象に、通院助成金制度を設けています。

### ■対象者

- ・特定疾患医療受給者証の交付を受けているかた
- ・人工腎臓を実施している慢性腎不全のかた（人工透析）
- ・18歳未満で療育手帳A判定に該当のかた
- ・18歳未満で身体障害者手帳1、2級に該当のかた
- ・精神障害者保健福祉手帳1、2級に該当のかた

一般診療は対象になりません）

### ■助成額

往復の交通費の半額相当分を助成します。

なお、病院などの送迎バスでの通院は対象となりません。また特定疾患及び人工透析のかたは限度額があります。

### ■申請用紙

福祉課、または各支所・出張所に所定の申請用紙があります。2月受診分までを通院医療機関で証明を受け、提出ください。

### ■提出期限

3月31日（水）

### ■提出先

福祉課、または各支所・出張所

### ■お問い合わせ

福祉課 ☎82・0661

す。（かぜ・けがなどの  
院・訓練が対象となりま  
る町外医療機関への通  
手帳・受給者証にかか  
助成対象  
帳1、2級に該当のかた



シリーズ **ストップ温暖化**

## エコアクションをはじめよう

地球温暖化は確実に進行しています。温暖化が進めば気候の変化によって、生態系や食糧事情に大きな影響を及ぼします。昨年の台風9号による局所的な豪雨も温暖化の影響を受けているのではないのでしょうか。懐中電灯の灯りのもとで水の音と物の壊れる音の中、恐怖と不安で夜を過ごしたこの体験は決して忘れてはいけません。

私たちが行動を起こすことで、温暖化の進行を防ぐことができます。子どもたちの将来のためにもみんなが行動することが大切です。まずは、台所からはじめてみてはいかがでしょうか。

### ■台所からできる温暖化防止

- ・ 地元でとれた旬の食材を使う。
- ・ 電球を省電力タイプの電球型蛍光灯やLED電球に交換する。
- ・ 冷蔵庫の庫内温度を季節に応じて設定する。
- ・ ご飯は食べる分だけ炊く。

家族で省エネ行動、エコアクションをはじめましょう。



### 4月から新しい受給者証に

国民健康保険

## 高齢受給者証を更新します

国民健康保険に加入し、高齢受給者証(70歳から74歳)をお持ちのかたで、4月以降、一部負担割合が「2割(平成22年3月31日までは1割)」と記載のあるかたは、4月1日から新しい受給者証になります。新しい受給者証は、3月下旬に郵便でお送りしますので、必ず内容をご確認ください。

なお、古い受給者証は、住民課、または各支所・出張所に返却してください。

■お問い合わせ 住民課 ☎82-0660

## ■ご存知ですか 介護手当制度

町では、65歳以上の在宅高齢者、または在宅の高齢者本人、配偶者、扶養重度(心身障害者(児))で、寝たきりのかたを介護している家族に、介護手当を支給しています。申請がまだのかたは、手続きを行ってください。

■支給額 月額1万円(3か月毎に3万円ずつ年間4回支給)(重度障害者(児)介護手当の場合、月額1万5千円の場合)

②【在宅高齢者の場合】

居宅で6か月以上寝たきりの状態で、常時介護を必要とする状態

居宅で認知症の状態  
で、常時介護を必要とする状態

【在宅障害者の場合】  
障害者手帳1級または2級を所持されているかた、または重度知的障害児と判定されたかた

■お問い合わせ  
福祉課 ☎82・0661

### 地域の安全と安心を守る

## 消防団員募集

「自分が育った町、自分が暮らす町、大切な町を守りたい」。そんな人たちが集まる消防団にあなたも入



団しませんか。地域を知るあなただからこそできることがたくさんあります。みんなの町をいっしょに守りましょう

### ■消防団員になるための資格・要件

- ①町内に在住・在勤する18歳以上のかた
- ②身体強健で、団員として品位を保持できるかた

■お問い合わせ 住民課 ☎82-0660

すべての市民の暮らしを応援します

# としょかん

## だより

佐用町立図書館  
 佐用郡佐用町佐用2585 TEL 82-0874 FAX 82-0313  
 メールアドレス toshokan@town.sayo.lg.jp  
 ホームページ http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp

### 館内特別整理を実施

所蔵図書の大規模整理のため、4月11日(日)から17日(土)まで休館します。それに伴い、3月28日(日)から4月10日(土)まで特別貸出を実施します。期間中は、貸出上限をなくし、また新刊雑誌の貸出期限も2週間に延長します。

### ものづくり講座参加者募集

「けしゴムであそぼう」の参加者を募集します。  
 内容 けしゴムハンコで

- 日時 3月13日(土) 午前10時～正午
  - 場所 さよう文化情報センター
  - 講師 堂野能伸さん (京都精華大学非常勤講師)
  - 対象 小学3年生以上
  - 募集人数 15人
  - 材料費 300円
- ### としよかんボランティア「あそばせ隊」のおはなし会
- 日時 毎週土曜日 午後2時～午後2時30分
  - 場所 図書館おはなしコーナー
  - 対象 幼児・小学生
  - 申し込み 不要
- ### おはなし会「小さい人(5歳以上)」
- 日時 毎週日曜日 午後2時30分～午後3時
  - 3月のおはなし 「いぶらりいぶらり」
  - 申し込み 不要
- ### 【大きい人(小学3年生以上)】
- 日時 毎週日曜日

### 図書館カレンダー

| 3月 March 弥生 |    |    |    |    |    |    | 4月 April 卯月 |    |    |    |    |    |    |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-------------|----|----|----|----|----|----|
| 日           | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日           | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|             | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 4           | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 7           | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 11          | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 14          | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 18          | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 21          | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 25          | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |
| 28          | 29 | 30 | 31 |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

- 3月のおはなし 「ゆづかんな靴直し」
  - 申し込み 不要
  - 午後3時～午後3時30分
- ### おりがみ教室
- 日時 3月27日(土) 午後3時～午後3時30分
  - 場所 さよう文化情報センター会議室
  - 対象 3歳以上の子ども ※保護者の参加も可
  - 3月のおりがみ 「いちご・さんぼう」
  - 申し込み 不要。折り紙をご持参ください。

### ママプラザだより

### 一日一日を大切に

私たちは、ほぼ同じ生活の繰り返しで毎日が過ぎますが、この積み重ねが、子どもたちにどんな意味があるのでしょうか。これを一年のママプラザの活動に置き換えてみると、昨年4月の開講式から始まり、月ごとのサークル活動、季節の親子活動や講演会などを経験しながら、私たちは多くの人と交流し、日々を過ごしてきました。そして3月、今年も節目のときを迎えました。参加した皆さんは、日々を重ねることで、大切な経験と気づきがあったと思えます。また子どもたちは大人の姿を見て学び、成長を見せてくれました。そして、親子の表情やしぐさにたくましさを感じるのが毎年この時期です。やはり日々の積み重ねや出会い、経験が自信につ



みんな成長しました

ながっているのでしょうか。日々の生活も同じこと。まず大人が規則正しい生活や、人との関わりを繰り返し見せる中で、子どもは生きるうえで必要なことを自然に身につけます。そしてその成長に、私たちは喜びを感じます。私たち大人も一年を振り返り、大切なことをポケットに入れ、日々、子どもと共に成長していきたいですね。

## 新着図書案内

2010.1.11 ~ 2010.2.10 受け入れ分の一部



### ●大人向けの本

- くらべない生き方 大平光代・鎌田 実/著 中央公論新社
- 法然と秦氏 山田繁夫/著 学研パブリッシング
- なぜ対馬は円く描かれたのか 一 国境と聖域の日本史 黒田 智/著 朝日新聞出版
- 「阿修羅像」の真実 長部日出雄/著 文芸春秋
- 温泉療養の手帖 一健康づくりを楽しむ本 民間活力開発機構
- あるオランダ人の「昭和ジャパン」論 一不確かな平成から見た確かな昭和 ハンス・ブリンクマン/著 ランダムハウス講談社
- 職業“振り込め詐欺” NHKスペシャル「職業“詐欺”」取材班/編 ディスカヴァー・トゥエンティワン
- 「いびき」はからだの「赤信号」 巽 浩一郎/著 保健同人社
- 岡山病院ガイド 一岡山の137病院を一挙掲載！ 山陽新聞社
- 春夏秋冬餅レシピ 一1年中食べたい餅料理108 斎藤 宗厚/〔著〕 トランスワールドジャパン
- 丹波の名陶 藤森武/撮影 求竜堂

- 家紋の切り紙 一植物紋から器物紋まで144作品を収録 エキグチクニオ/著 誠文堂新光社
- にんげん万歳！ 一愛と哀の人間世界 高橋まゆみ/著 清流出版
- あの谷のむこうに 村田 久/著 つり人社
- 蒼き信長 上・下巻 安部竜太郎/著 毎日新聞社
- ★夢ほりびと 池永 陽/著 文芸春秋
- 存在という名のダンス 上・下巻 大崎善生/著 角川書店
- 私の家では何も起こらない 恩田 陸/著 メディアファクトリー
- 閉ざされて 篠田真由美/著 角川書店
- Nのために 湊かなえ/著 東京創元社
- 月光の刺客 森村誠一/著 実業之日本社
- 青森ドロップキッカーズ 森沢明夫/著 小学館
- 夢曳き船 山本一力/著 徳間書店
- 竜太語る 飯田竜太/著 山梨日日新聞社
- 勝間さん、努力で幸せになれますか 勝間和代/著 朝日新聞社

### ●子ども向けの本

- ふしぎがいっぱい！ニッポン文化 1～4巻 こどもくらぶ/編・著 旺文社
- 最先端科学がときあかす宇宙 国司 真/文 旺文社
- ふたごのかいぞく ウイリアム・ニコルソン/作 復刊ドットコム
- 少年たんていブラウン 1～10巻 ドナルド・ソボル/作 偕成社
- ★は図書館と南光図書室にあります。上月図書室・三日月図書室は休館中です。

## 地域包括支援センター通信

### 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

「連絡して下さって良かった。感謝します。」ひとり暮らし高齢者のご家族から寄せられた言葉です。

この高齢者は最近、物忘れがはじまり、心配した近所の方が当センターへ連絡して下さいました。職員が訪問すると、本人も物忘れが気になっていた様子。遠方で暮らすご家族に電話したところ「実は物忘れがひどくなり気になっていました。が、どうすれば良いか困っていた。近所のかたがセンターに連絡してくれたこと、今まで母を見守ってくださっていたことに感謝します」とおっしゃいました。

たよ」と声をかける店員さん。「寒いから家におつたほうがええよ」と徘徊中に声をかけ自宅まで誘導するかた。「今日は寄り合いがあるよ」と知らせるかた。「最近様子が変わってきました」と相談機関に連絡するかた。これらは町内で実際にあった見守りの例です。その方法は様々ですが、認知症のかたが住み慣れた地域で生活していくうえで大切な支えとなっています。

皆さんもそれぞれの立場で見守りを実践して、だれもが暮らしやすいまちにしていきたいでしょう。

### ■お問い合わせ

健康課

「昨日も同じもの買ったよ」

☎ 87・8020

受賞おめでとうございませす

ひょうご県民ボランティア活動賞



「あさぎり」の皆さん



奥林さんご夫妻

のじぎく賞



榎本さんご夫妻



聴覚障害のかたと手話による交流や、手話教室などを行ってきたボランティアグループ「あさぎり」(代表・押田美代子さん(西河内))の皆さんと、20回の短期里親をつとめ、温かい愛情で里子の健全育成に尽力した奥林勝さん・春子さんご夫妻(庵)に、このほど、ひょうご県民ボランティア活動賞が贈られました。

それぞれ、長年の活動が認められ、今回の受賞となりました。



5回の短期里親をつとめ、児童福祉の向上と里子の健全育成に尽力した榎本雅之さん・節子さんご夫妻(榎ヶ淵)に、のじぎく賞が贈られました。

## 食卓は心と体を育む場所

### 「こ食」になっていませんか？



現在の若者や子どもたちに多い、乱れた食生活をあらわす言葉として「こ食」があります。「こ食」は健康に悪いだけでなく、心にも悪影響があり、正しい食習慣や食文化伝承の妨げとなります。

「こ食」の「こ」には次の6つの漢字があてはまります。あなたの食卓に、次のような「こ食」は潜んでいませんか。

- 孤食 家族が不在の食卓でひとりで食べること
- 固食 自分の好きな決まったものしか食べないこと
- 粉食 麺類・パン類を主食として好んで食べること
- 個食 家族がそれぞれ自分の好きなものを食べること
- 小(少)食 いつも食欲がなく食べる量も少ないこと
- 濃食 味の濃いものを好んで食べること

これらの「こ食」をしていると、好き嫌いが増え、栄養が偏りがちになります。塩分や糖分、脂肪のとりすぎにもなり、肥満や生活習慣病を引き起こす原因となります。

また、社会性や協調性が身につかない、わがまま、きれいやすいなど、心の健康にも悪い影響があります。

#### ■「こ食」を防ぐ、楽しい食卓を

ライフスタイルの変化に伴い、家族がそろって食事をする機会は減ってきています。

しかし、食卓はただ物を食べるだけの場所ではなく、「心を育む場所」でもあります。

1日1食でも「楽しく」家族が集える会話のある食卓を心がけましょう。

## 行事カレンダー

### ■機能訓練教室

3月10日(水)

3月24日(水)

両日とも 13:30～15:30

### ■デイ・ケア(精神障害者社会復帰訓練事業)

3月9日(火)

3月25日(木)

両日とも 13:30～15:30

### ■こころのケア相談(要予約)

3月11日(木) 13:30～16:00

※いずれも場所は佐用町保健センター

### ■お問い合わせ

佐用町保健センター

☎ 82-2079

## 赤ちゃん和妈妈の行事

### ★すくすく健康相談(平成21年9月生まれ)

3月12日(金) 13:30～

### ★4か月児健診(平成21年11月生まれ)

3月15日(月) 13:30～

### ★3歳児健診(平成19年1月～平成19年2月生まれ)

3月17日(水) 13:00～

### ★ヨチヨチ健康相談(平成21年3月生まれ)

3月19日(金) 13:30～

### ★すてきなママになるための教室(妊婦)

3月29日(月) 9:30～

### ★0歳児クラス(2か月～1歳未満)

4月5日(月)

2か月～6か月児 10:00～11:30

7か月～1歳未満児 10:30～12:00

### ★ぱくぱく離乳食教室(すくすく健康相談～1歳6か月未満)

4月8日(木) 10:00～

※0歳児クラスはさよう子育て支援センターで、その他は上月保健福祉センターで開催します。

### 健康だより



## がん検診を受けましょう

### ■早期発見・早期治療が大切

がんは日本で昭和56年から死亡原因の第1位になり、平成19年には年間34万人のかたが、がんで亡くなっています。今や3人に1人ががんで亡くなるという時代です。

がんによる死亡を減少させるためには①一次予防(がんになる危険性を減らす)、②二次予防(がん検診)、③三次予防(治療成績・療養生活の向上)が重要です。

がんの原因として、喫煙、食生活、運動などの生活習慣が関係していますが、たばこを吸わず、酒も飲まず、食事のバランスに気をつけ、運動を心がけても、がんになる危険性はゼロにはなりません。

がんによる死亡を効果的に減少させるためには、早期発見・早期治療です。そのためにはがん検診の受診が重要です。

### ■あなたががん検診を受けない理由は？

昨年8月末に調査された「がん対策に関する世論調査」で、がん検診を受けない理由として「たまたま受けていなかった」「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」という回答が多かったのですが、あなたはいかがですか。

がんは症状を自覚するようになってからでは、進行していることが多く、がんが進行してしまうと治療成績も悪くなります。がん検診は、症状のないうちに受診してこそ効果を発揮します。

### ■検診を受けましょう

町の実施する検診や郡医師会でのがん検診の機会を利用して、ぜひ受診しましょう。

主伴奏：尾崎真美さん

■内容 合唱曲や季節の童謡の練習、イベントへの出演、福祉施設への訪問など

■年会費 1,500円  
(弟妹は1,000円)

■練習日 毎月第2・第4土曜日  
午前9時30分から2時間

■練習場所 佐用町三日月の明光寺(送迎は保護者で)

問 すべて生涯学習課

☎ 82-3336

### 西播磨県民局だより JR 姫新線高速化と増便

広報紙2月号でもご紹介しましたが、3月13日(土)から、JR 姫新線のダイヤが変わるとともに、所要時間の短縮、大幅な増便が行われます。通勤・通学・レジャーに、姫新線をご利用ください



■所要時間の短縮

【姫路駅～上月間】

最速 75分→65分

【姫路駅～播磨新宮駅】

最速 33分→29分

■増便試行

2年間(平成22年3月～平成24年3月)の実施予定です。

【姫路駅～播磨新宮駅】

昼間毎時1本→2本

【播磨新宮駅～上月駅】

昼間2時間に1本→毎時1本

問 兵庫県交通政策課鉄道係

☎ 078(362)3886

### 人のうごき 2月18日現在( )内は前月比

|     |         |       |
|-----|---------|-------|
| 人口  | 20,248人 | (-23) |
| 男   | 9,668人  | (-20) |
| 女   | 10,580人 | (-3)  |
| 世帯数 | 7,207戸  | (-7)  |

|        |     |    |     |  |
|--------|-----|----|-----|--|
| 2月中の移動 |     |    |     |  |
| 出生     | 8人  | 死亡 | 31人 |  |
| 転入     | 24人 | 転出 | 24人 |  |

### お誕生おめでとう

1月21日から2月18日届出分 敬称略

個人情報につき非公開

### ■お詫びと訂正

2月号のお悔やみ欄で、円光寺の「和田美恵」さんとあるのは、正しくは「和田美江」さんでした。ご家族の皆さまに大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正いたします。

### ■ちょうみんカレンダー

3月上旬～4月上旬

| 月日   | 曜日 | 内容            | 場所            | 時間          |
|------|----|---------------|---------------|-------------|
| 3/10 | 水  | 福祉相談          | 上月支所1階会議室     | 13:30～16:00 |
|      |    | 中学校卒業式        | 各中学校          |             |
| 11   | 木  | 高年大学南光教室閉講式   | 南光文化センター      | 10:30～      |
|      |    | 高年大学三日月教室閉講式  | 三日月老人福祉センター   | 10:00～      |
| 16   | 火  |               | 三日月文化センター会議室  | 9:00～11:00  |
|      |    | 行政相談          | 上月支所1階相談室     |             |
|      |    |               | 役場本庁舎2階会議室    | 13:00～15:00 |
| 17   | 水  |               | 南光文化センター会議室   |             |
|      |    | 高年大学上月教室閉講式   | 上月文化会館        | 10:00～      |
| 18   | 木  | 高年大学佐用教室閉講式   | さよう文化情報センター   | 10:00～      |
| 21   | 日  | マラソン・ウォーキング大会 | 鳥取自動車道        | 8:00～       |
|      |    | 南光自然観察村復興イベント | 本紙9頁をご覧ください。  |             |
| 23   | 火  | 小学校卒業式        | 各小学校          |             |
|      |    | 保育園卒園式        | 各保育園          |             |
| 25   | 木  | 弁護士相談(社協へ要予約) | 三日月福祉拠点施設     | 13:00～15:30 |
| 4/3  | 土  | 昆虫館再開         | 本紙9頁をご覧ください。  |             |
|      |    | 佐用町桜まつり       | 本紙10頁をご覧ください。 |             |
| 4    | 日  | 消防出初式         | 南光スポーツ公園      | 10:00～      |
|      |    | 昆虫館再開記念イベント   | 本紙9頁をご覧ください。  |             |
| 5    | 月  | 保育園入園式        | 各保育園          |             |
| 6    | 火  | 小中学校入学式       | 各小中学校         |             |

### お悔やみ申し上げます

1月21日から2月18日届出分 敬称略

氏名 年齢 自治会

個人情報のため非掲載



## 今月の納税

### 国民健康保険税第8期分

納期限 **3月31日 水**

口座振替日は3月31日(水)です

納税は納期限までに!

#### ■お問い合わせ

住民課 ☎82-0660

### 介護保険料(普通徴収)第8期分

納期限 **3月31日 水**

#### ■お問い合わせ

健康課 ☎87-8020

### 後期高齢者医療制度(普通徴収)第9期分

納期限 **3月31日 水**

#### ■お問い合わせ

福祉課 ☎82-0661

### 確定申告による 所得税の納期限は

納期限 **3月15日 月**

口座振替日は4月22日(木)です

納税は納期限までに!

#### ■お問い合わせ

税務課 ☎82-0662

## ハイチ地震 義援金を募集

1月13日(現地12日)にハイチ共和国で大規模な地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。

兵庫県、県議会などが中心

となり、民間団体の協力を得て、被災者支援のための義援金を募集します。

災害時には、国内外から多くの支援をいただき、お互いに助け合うことの大切さを学びました。この教訓を生かし、あたたかい支援をお願いします。

■募集期間 3月31日(水)まで

#### ■受付方法

##### 【口座振替】

ゆうちょ銀行(振込手数料は寄付者負担)

口座名義:「ハイチ地震兵庫県義援金募集委員会」

口座番号「00910-3-180394」

##### 【募金箱】

佐用町役場本庁、各支所に設置

※この義援金は税法上の優遇措置(特定寄付控除)の対象ではありません。

#### 問ハイチ地震兵庫県義援金募集委員会事務局

☎079(341)7711

(内線5389・3161)

## 危険物取扱者試験などの 電子申請について

4月1日から、危険物取扱者・消防設備士試験の電子申請(インターネット申請)が可能となりました。

これまでのように願書を準備する必要はなく、自宅や職場からいつでも受験申請をすることができます。また、試験手数料はクレジットカードやコンビニエンスストアからも払い込みができます。ただし、複数受験を希望する場合

は、今まで通り書面での申請となります。

くわしくは、(財)消防試験研究センターのホームページ(<http://www.shouboshiken.or.jp>)をご覧くださいか、消防署にお問い合わせください。

問消防署 ☎82-3874

## みんな集まれ! メンバー募集

### ①さよう子どもアートスクール

■対象 小・中学生

■活動 月1回程度の町内各地での自然体験、創作活動など(原則第2日曜日)

■応募要領 学校から配布されるチラシに詳細記載

※サポーター(活動支援の大学生、高校生)も同時に募集しています。



昨年のどろんこハウスづくり

### ②障害者社会学級

「くすの木学級」は聴覚障害を持つかた、「青い鳥学級」は視覚障害を持つかたが、年3回程度集い、交流と学習を深める生涯学習講座です。

※活動を支えるスタッフも随時受け付けています。

### ③ひかりのさと少年少女合唱団

■対象 保育園・幼稚園児～小・中学生

#### ■指導者

指揮:西岡美沙子さん

# わが家のアイドル



前川 航輝ちゃん 前川 未采ちゃん 前川 遥紀ちゃん

お兄ちゃんたちは、朝から晩まで未采にハグハグ、チュッチュッ♡未采はうれしいような、窮屈きゆうくつなような…。でもお兄ちゃん大好き！3人仲良く育ててね。 パパ・ママより

## 佐用町の誇り 瑠璃寺奥の院



船越山瑠璃寺は、神亀5年（728）2月、聖武天皇の勅願によって行基が開創したと伝えられています。この寺伝には「播磨国の戌亥の方（北西）に夜々現れるという瑞光を求めて山中に入った行基が、にわかじんきに現れた老翁（実は薬師如来の化身）に案内を受け、また山の地主である大天狗に出会い嶺上の霊地を示されたことから、ここを奥の院として薬師如来をまつり、山腹の本堂には千手観音など72もの堂宇が建てられた」と記されています。

現在、瑠璃寺の宝物群からたどれる歴史は14世紀以降で、数度の火災にあい、堂宇の大半は江戸時代以降に建て直されています。

奥の院は本坊から約1キロ離れた標高約520メートルの山陵上にあり、その薬師如来は「峯の薬師如来」と称され、江戸時代に書かれた地誌「播磨鑑はりまかがみ」には「毎年二季の彼岸を功德日として、近里遠国の貴賤袖をつらぬる事夥し」と記され、庶民の厚い信仰を受けていたことが知られます。

この建物は、約13メートル四面の立派なもので堂内に張られた祈祷札から建築年代は18世紀半ばごろと考えられます。

外観は入母屋妻入りで妻飾りに二重虹梁こうりょうを用いて意匠を凝らし、内部は禅宗様式で、組み物は出三斗でみつとの簡素だが整った意匠の堂。改造もほとんどなく当初の形態をよくとどめた江戸時代中期の代表的寺院建築であることから、平成5年に町指定文化財となっています。

## 星空ばんざい

西はりま天文台公園

### 彗星は帰ってくる

シュヴァスマン・ヴァハマン  
第3彗星増光

シュヴァスマン・ヴァハマン彗星（写真）は2006年5月に地球へ接近した彗星です。本体がいくつにも分裂した彗星で、前回地球と近づいたときにはさらに分裂、大増光し私たちを楽しませてくれました。本天文台でも故・森淳研究員がいち早く観測を開始し、精力的に研究を行いました。



この彗星が公転する周期は5～6年、間もなく帰ってきます。私たちも星空での再会を楽しみにしましょう。

西はりま天文台 主任研究員 坂元 誠

### 天文クイズ

彗星に関して間違っているのはどれ？

- (1) 彗星は「ほうき星」と呼ばれるが、実際はちりをまき散らしている
- (2) 彗星の正体は雪だるまみたいなものである
- (3) 彗星は流れ星を降らせるメルヘンなやつだ
- (4) 彗星たちは水星の弟星が砕け散り、ちりになったものだ

2月号の答え (1) 正体がわからない未知の線だったため

【応募方法】 はがき、またはFAX・メールで住所、名前、年齢、電話番号、答えを記入し役場まちづくり課まで送ってください。正解者のなかから抽選で3人のかたに景品を送ります。なお、発表は景品の発送をもって当選者のかたにお知らせします。

◆「もつと表現力やソフトを使う技術があれば」。日々悶々としながら締切りに追われます。広報さようは、印刷のみ業者へお願いし、私が専用ソフトを使ってパソコンで全て作ります。文章やデザイン、写真の難しさに悩み、しほむこともあります。◆先日、良きライバルで理解者である近隣市町の担当者とうう機会がありました。みんな課題を抱えながらも思いは熱く、話はつきません。◆負けられない、負けたくない、佐用町の看板を背負っている限り。みんな、パワーをありがとう。⑤

### 編集後記